

【参考】保護者用学校評価アンケート項目及び今年度の取組について

柱	No	評価項目	学校の説明、考え
学校の組織運営	1	学校は「はじめに子どもありき」の理念の下、子どものための教育活動にあたっている。	・休校中は動画配信や視聴できない子どもたちへのDVD配布、一斉登校ではなく一人ずつの個人面談、家庭での時間割制度、校庭開放等、実施した。休校解除後は、感染防止の取組、成績算出時期の見直し、服装の柔軟化、簡易給食での副食持参許可、部活動の段階実施と3年生の意志の尊重等、ありのままの子どもの姿を見て、一人一人の興味・関心、見方、考え方を捉えて柔らかな心で接し、教育活動を推進している。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。 (※いじめの未然防止と早期発見、再発防止等の組織的な対応を含む)	・休校中の個人面談、感染症拡大防止の取組を実践している。 ・防災対策では、浸水想定垂直避難訓練、月例安全点検、緊急配信メールの活用、校舎2階以上の転落防止措置を実施している。 ・教育相談週間の設定、いじめ防止月間の取組、オレンジリボンキャンペーン、やりとり帳、関係機関等連携に取り組んでいる。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	・県学力・学習状況調査では、全学年全教科で県正答率を上回った。 ・休校中は、YouTube授業動画配信、ラインズeライブラリによる学習支援、家庭学習の時間割制を実施した。 ・数学の授業では少人数指導、T.Tを行なっている。テスト期間には学習支援員を導入し、放課後学習教室を実施している。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	・主体的、対話的で深い学びの実践について、外部講師を依頼しリモートによる教員研修を行い、授業力向上に取り組んでいる。 ・3年普通教室への大型TV配備、1、2年普通教室配置用の大型TVを追加し、授業でのICT活用の環境を整えた。 ・県学調結果分析に基づく授業改善を進めている。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	・県学力・学習状況調査の質問紙調査では、時間を守る、挨拶、きまりを守る等、ほとんどの項目でよくできる、できると回答した生徒が80%以上であり、90%を超えるものも多い。 ・無言で集中して清掃に取り組む生徒の様子が見られる。 ・落ち着いた態度で授業に前向きに取り組んでいる。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	・教職員が交代で昇降口に立ち、朝のあいさつ運動を実施している。 ・委員会活動として各学級の委員を中心とした自治活動に取り組んでいる。靴揃えやロッカー点検等、強化月間を設けてキャンペーンを実施している。 ・休み時間等、学年職員が教室、廊下に常駐している。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	・積極的に運動部活動に取り組む生徒が多くなっている。各部の活動も活発である。 ・昼休みは、各学年多くの生徒が外遊びに出ている。体育館にも生徒が体を動かそうと集まってくる様子がある。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	・新体力テストを実施し体力向上への意欲を高めている。体育授業で意図的に取り組んでいる。 ・生徒による自治活動として、体育委員が昼休みの校庭・体育館開放を実施している。各学級にはクラスボールを配備している。
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	・二中校区ふれあい推進事業実行委員会を開催し、今年度取組の在り方を検討し、中止を決定した。 ・学校地域懇談会(学校運営協議会準備会)を11月開催予定である。 ・学校便りの回覧、ホームページにより情報発信を進めている。 ・学生ボランティア、地域人材活用事業(授業、部活動)を導入している。
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	・学校支援ボランティア(消毒ボランティア)を募ったところ、延べ164名の方々に参加いただいた。 ・学校公開週間では延べ186名の方々に教育活動をご覧いただいた。 ・保教会校外委員による校外補導、通学路点検を11月末に実施する。 ・保教会各専門委員会による活動を実施している。